



2021年6月17日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙
(コード番号：6094 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 永井 秀輔
(TEL. 03-6721-1740)

特別損失の計上に関するお知らせ(開示事項の経過報告)

当社は、2021年9月期第3四半期連結会計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)において、下記の通り、特別損失(デリバティブ取引評価損)の計上を行いますので、お知らせいたします。

記

1. デリバティブ取引評価損の計上(開示事項の経過報告)

当社が2020年11月16日に開示いたしました「特定子会社の異動(株式譲渡)及び特別利益計上のお知らせ」にてお知らせしましたデリバティブ取引が完了したことにより、2021年9月期第3四半期会計期間において、デリバティブ取引評価損として単体及び連結で111百万円を特別損失に計上いたします。その結果、当会計年度において、デリバティブ取引評価損として339百万円を特別損失に計上いたします。

本件譲渡に係る譲渡価額については、2020年11月16日に開示した金額で確定しておりますが、当社が株式の譲渡先である株式会社SBI証券との間で締結したデリバティブ契約に基づき、株式譲渡契約日の翌日(2020年11月17日)から取引終了日までの株価変動に応じた損失額として、デリバティブ取引評価損を計上したものになります。

なお、2020年11月16日に開示した株式会社インティメート・マージャーの株式譲渡に関して、一連の取引により当連結会計年度において、特別利益として関係会社株式売却益654百万円、特別損失としてデリバティブ取引評価損339百万円を計上することになります。

2. 業績に与える影響

当該デリバティブ取引評価損の計上による2021年9月期連結業績予想(親会社株主に帰属する当期純利益)への影響につきましては、現時点ではその他の業績に影響を与える未確定要素が多いため、引き続き親会社株主に帰属する当期純利益は非開示といたします。なお、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

以上